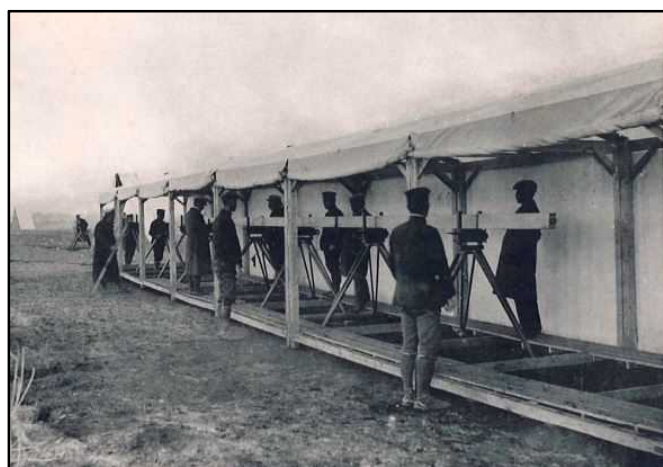


進化する測量技術

より高精度・短時間・安全な測量が可能に！

測地測量の技術変遷！

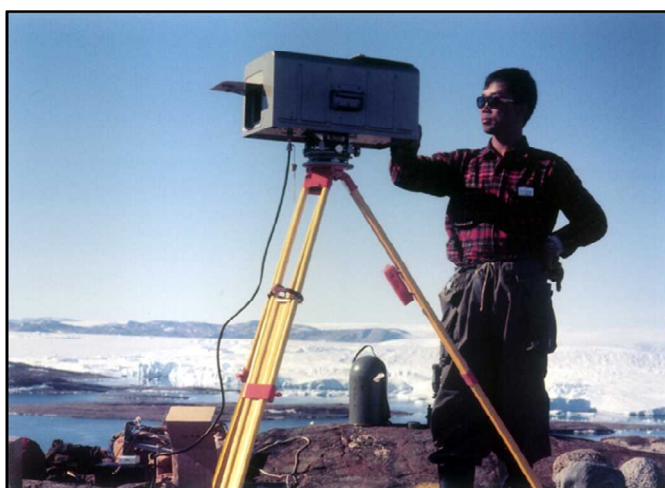
明治時代から地図を作るための測量は、高い山などに三角点を設置して行ってきました。昭和40年代には測量は角度を測る測量から、距離を測る測量に進化しました。現在では、GPS衛星をはじめとする人工衛星を利用して、安全かつ効率的に精度の高い測量が可能です。



基線尺比較 (明治43年:1910年)
相模野基線 (神奈川県)



三角測量 (昭和29年:1954年)
あいばの
饗庭野基線 (滋賀県)



多角測量 (昭和年代)
南極観測でのレーザー測距儀による
距離計測



GNSS測量 (平成28年:2016年)
西之島 (東京都小笠原諸島)

詳しくはこちらをご覧ください →

